

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング発表資料

活動団体名：長沼町

活動地域：北海道夕張郡長沼町

活動におけるテーマ

タンチョウも住めるまちづくり

※イメージ図

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

第5期長沼町総合振興計画

ひと・緑がかがやく
田園と交流のまち

- 安全に安心して暮らせるまち
- 自然環境と調和したまち
- 来てみたい・住んでみたいまち

長沼町「タンチョウも住めるまちづくり」ってなんだ!?



※イメージ図



タンチョウ (撮影: 高江氏 提供)

地域の現状と課題

現状

札幌市から32km
(車で50分~1時間)



新千歳空港から29km
(車で30分)

面積168.52平方km

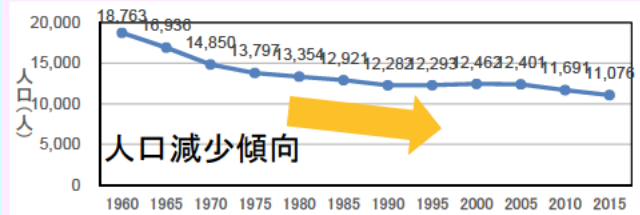
自然

- 石狩平野に広がる農村景観
- 標高100~280mの馬追丘陵
- タヤけ
- 舞鶴遊水地とタンチョウ

産業

- 農業:** 基幹産業。繁忙期に作業者不足
- 観光:** グリーン・ツーリズム特区。受入農家の高齢化に伴い受入数減少
- 商業:** どぶろく特区。道の駅。温泉。

課題



- 人口減少の軽減・移住の促進
- 長沼町内での仕事創出・紹介

農業

- 6次産業化
- 農産物のブランド化
- 農業の魅力向上・発信
- 就農支援

観光

- 観光形態の多様化への対応
- 体験型観光の強化
- インパウンドへの対応

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

舞鶴遊水地

洪水被害軽減のため国が整備
面積: 約200ha
容量: 約820万m³
平成27年度から供用開始

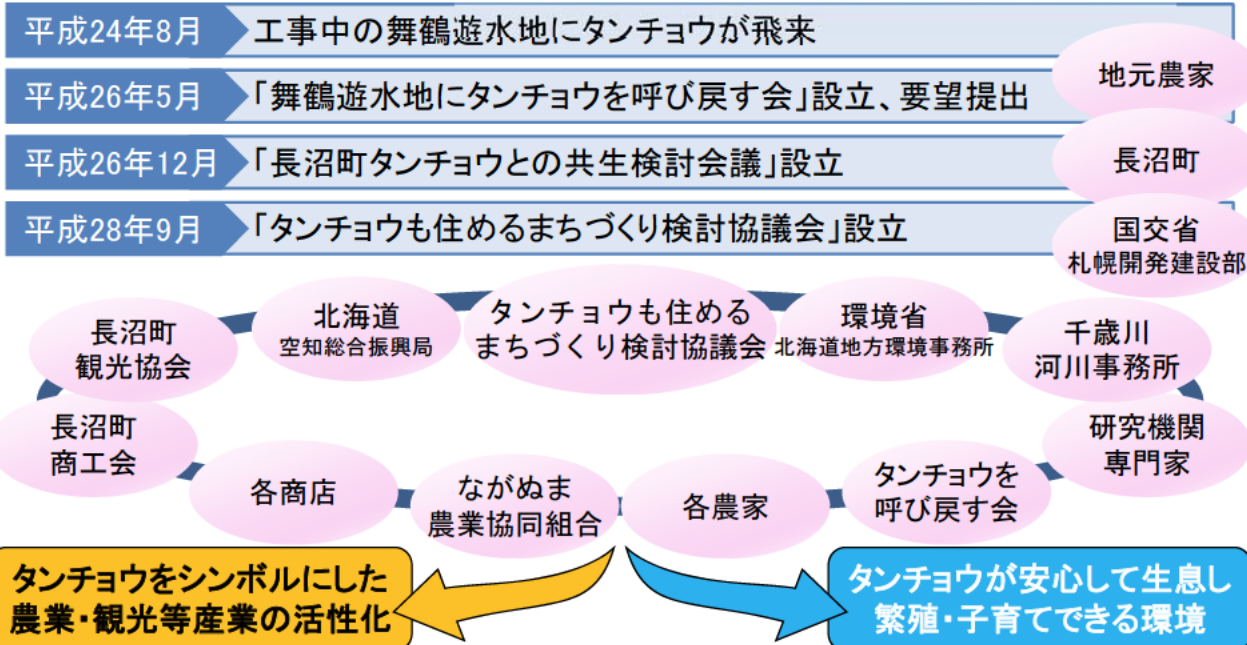


舞鶴遊水地



タンチョウ

写真提供:
札幌開発建設部



今後の事業取り組み予定

◎ 舞鶴遊水地における観察拠点の充実

- 野鳥観察小屋「鳥の駅マオイトー」内展示物
- 誘導看板や説明看板
- 観察用設備(双眼鏡等) など



◎ タンチョウも住めるまちづくりの取組の町内外への普及・定着

- 市民が参加できるイベント・ワークショップ・講演会等の開催
- サポーター(仮称)制度の創設 など

◎ 町全体に観光誘客効果を波及させる体制の整備

- 観光協会、商工会、グリーンツーリズム推進協議会等の町内ファクターとの連携
- 遊水地周辺マップやタンチョウ商品紹介チラシの作成 など

◎ 取組の持続性の確保

- 取組資金獲得のための体制の検討・整備
- 寄附グッズの制作 など

スケジュール (令和元年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定				◇ビジョン検討							◇ビジョン概定・策定	
ステークホルダーの巻き込み					◇観光協会・商工会・グリツリ推進協議会・JA・呼び戻す会などとの連携内容検討 ◇観光協会・商工会・グリツリ推進協議会・JA・呼び戻す会などとの個別ヒアリング				各WGの適宜開催			◇グリツリ推進協議会 総会 ◇各ステークホルダーとの連携事業の実施 ◇新規/継続行事の開催検討 ◇新規/継続行事の開催 ◇次年度年間行事予定の作成